

☆☆☆「かしこく やさしく たくましい松っ子」に！☆☆☆

大村市立松原小学校  
学校だより

# 一歩前へ

文責：校長 高木 修  
令和4年1月21日No.20

☆☆☆子どもが「喜んで登校 満足して下校」する学校づくり☆☆☆

## ◆ あっという間に…

3学期が始まった時は49人だった長崎県の新型コロナウイルス感染者が、昨日は474人と10倍近くも増えてしまいました。大村市においても、昨日は39人となり、改めてオミクロン株の感染力の強さを感じています。長崎県下の感染段階も「レベル2-Ⅱ」に引き上げられ、県下全域に特別警戒警報が出されました。また、特に感染者の多い長崎市と佐世保市には、まん延防止等重点措置が適用されました。目には見えませんが、確実にすぐそばまで近づいてきています。

学校では、再度、「基本的感染対策」を確認し、徹底を図るとともに、人数や場所等に配慮しながら、できる限りの教育活動を進めていけたらと考えています。各御家庭には既にお伝えしておりますが、当面の間、「発熱等の風邪症状がある場合には登校を控えること」「同居家族に風邪症状がみられる場合も登校を控えること」「登校後に発熱等で早退する場合は兄弟姉妹も一緒に早退させること」について御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

### 【基本的感染対策】

- 「3密(密閉・密集・密接)」を避ける
- マスクの適切な着用(人との間隔がとれない場合のマスク着用)
- 手洗いなどの手指衛生
- こまめな換気

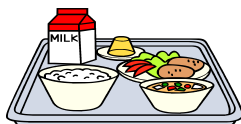


## 新型コロナウイルス感染症 感染段階:レベル2-Ⅱ(特別警戒警報発令) 長崎県から県民の皆さまへ

- 県外との不要不急の往来は控えて。
- 極力外出(特に長崎市・佐世保市への外出)を控えて。
- 会食の際は、
  - 感染防止対策の徹底されたコロナ対策認証店を利用
  - 普段一緒にいる人と、4人以内かつ2時間以内で
  - 会食の際もマスクを外したままの会話は控える
- 少しでも体調が悪いときは外出や会食を控え、すぐに医療機関に電話で相談。
- 感染不安を感じる無症状の県民の皆さまは、無料検査の受検をお願いします。
- 特に、以下に該当する人は、積極的な受検をお願いします。
  - 県外と往来した人
  - 県外から帰省などで来県した家族や友人と接触した人
- 発熱や咳など症状がある人は、医療機関に電話で相談して受診を。

(大村市のホームページより)

## ◆ 給食集会



毎年、1月24日～30日は「全国学校給食週間」です。本週間は、学校給食の始まりや給食に関わる多くの人たちのことを知り、食べ物のおお切さや毎日食べている給食について学ぶ週間です。本校でも、その趣旨に沿って、例年、取組を行っています。

まずは、給食集会です。来週からの本週間を迎えるにあたって、1月19日（水）の朝の時間に関きました。内容は、給食委員会の皆さんによる、本週間が設定されるもとになった「学校給食の始まり」についての話と、「食品ロス」の話です。日本では、毎日、一人あたり、ご飯茶碗一杯分の食料が捨てられていて、これをおにぎりにすると、一日に1億2千万個分も捨てられていることになるのだそうです。さらに、この捨てられた食料を燃やすために、一年で8千億から1兆円もかかっているとのことでした。私たち一人一人が「食べ残しをしないようにする」など、身近なところから「食品ロス」を減らすためにできることに、意識して取り組んでいくことの大切さを学ぶ機会となりました。

来週の本週間では、いつもお世話になっているリフトパートの濱田さんをはじめ、給食に携わっている皆さんにお礼の手紙を渡します。感謝の気持ちをもって、これからも給食をいただきたいと思います。



## ◆ ネット・SNSを毎日見ているあなたへ

ネット・SNSを  
毎日見ている  
あなたへ

トラブルに巻き込まれないために  
知っておきたい10のこと

大村市PTA連合会

これは、大村市PTA連合会から全児童に配付された冊子です。表紙裏に、今回の配付の趣旨等が記載してありますが、御覧になられたでしょうか。

中身についても児童向けの内容になっていますが、是非、保護者の皆様も一緒になって読んでいただき、アドバイス等をされたり、ルール作りのために活用されたりしていただけたらと思っています。

インターネットはとても便利で、今や生活の中になくしてはならないものになっています。

しかし、使い方によっては、トラブルに巻き込まれることになったり、誰かを傷つけてしまったり、自分が傷つけられたりすることにもつながります。

また、夢中になりすぎてしまい、規則正しい生活ができなくなることもあります。

いろんなトラブルに遭わないためには、ルールやマナーが必要不可欠です。

そのことについて、小学生のうちからしっかりと学び、安全に楽しく活用できるようになってほしいと、心から願っています。

